

マツゲン逃げ切る

第4代表決定YBSに4-2

都市対抗野球

近畿2次予選

第97回都市対抗野球大会近畿地区2次予選(日本野球連盟近畿地区連盟、毎日新聞社主催)は15日、大阪市の大阪シティ信用金庫スタジアムで第4代表決定トーナメント3回戦があり、マツゲン箕島

(有田市)は4-2でYBSホールディングス(兵庫県赤穂市・姫路市)を振り切り、16日の同4回戦に進んだ。

【栗林創造、中田博維、矢倉健次、来住哲司】

▽第4代表決定トーナメント3回戦

マツゲン 箕島

1200000000124

YBSホールディングス

0000000200124

(マ)奥田、近藤、中田、湯浅(Y)池島、永山、加藤響
―秋山▽三壘打 小池(マ)



【マツゲン箕島—YBSホールディングス】7回を2失点に抑えたマツゲン箕島の先発・奥田―大阪市の大阪シティ信用金庫スタジアムで

▽二壘打 松田(マ)吉田(Y) マツゲン箕島は一回、2死二塁から竹中の適時打で先制。二回は松田の2点適時二塁打で加点した。奥田は要所を締める投球で7回2失点と好投。YBSホールディングスは

七回、秋山の適時打などで2点を返したが、序盤の失点が痛かった。

打撃の立役者

○:マツゲン箕島は企業チームから今予選2勝目を挙げて次戦に

つなげた。打撃の立役者となったのは一番・松田陸斗で、一回にチーム初安打で出塁して先制のホームを踏み、二回は2死二、三塁から2点適時二塁打を放った。「二回はタイミングを外されたが、うまくバットの先で拾って外野へ持っていく。前打者がバントで進めた走者だったのので、期待に応えたかった」と自らの打撃に自信を深めた様子。勤務先のスーパー店舗では揚げ物と弁当作りが担当。「常に段取りを考

えながらの仕事が、野球にもプラスになっている」という。チームで一番の俊足でもある24歳は、さらなる勝ち上がりを目指す。